とりで

「アート・歴史・観光」のまち

取手市の概要

取手市観光協会
http://www.toride-kankou.net/

1 位置及び地勢

取手市（とりでし）は、茨城県の南端に位置し、都心へ40km、時間にして40分という位置にあり、交通の利便性と自然環境に恵まれた都市環境を持っています。
市域は総面積69.96km²、東西14.3km、南北9.3kmで、南・西部は、利根川に沿うように複雑に入り込んだ谷津田と標高20m前後の丘陵地帯からなり、俗にこの台地は北相馬台地と呼ばれています。
また、東部は細長い独立した台地からなり、北部は小貝川に沿って、その豊かな水に恵まれた水田地帯が広がっています。

2 沿革

取手という地名は、戦国時代に大鹿太郎左衛門の取出（砦）があったことから名付けられたといわれています。また、平将門の砦に由来するという説もあります。

取手市の歴史を遡ると、市内からは、中妻貝塚や向山貝塚などといった縄文時代の遺跡をはじめ、旧石器時代から奈良・平安時代にかけての遺跡が約90箇所も発見されており、古くから人々の生活の地であったことがわかります。

また、**平安時代末**の12世紀には、伊勢神宮の相馬御厨として取手市周辺が史料に記されています。さらに13世紀になると、取手市に係わる稲、戸頭、高井及び大鹿などといった地名も相馬氏の領地として史料に現れはじめます。

江戸時代のはじめ、伊奈半十郎忠治が幕府の命で岡堰を築造し、農地の開発が進み相馬二万石と呼ばれる水田地帯が形成されました。
やがて取手は、陸と水の交通の要衝として栄え、水戸街道の宿駅（取手宿・藤代宿・宮和田宿）や利根川舟運の河岸（取手河岸・戸頭河岸・小堀河岸）は人・物資・文化の交流で賑わいを見せました。特に、往時の繁栄を伝えるのは，参勤交代で大名が宿泊した旧取手宿本陣です。

明治維新を迎え、明治22年の市町村制の施行による町村合併を経て、昭和30年2月には町村合併促進法により取手町・寺原村・稲戸井村・高井村の一部・小文間村が合併し取手町が誕生しました。また、相馬町・六郷村・山王村と久賀村・高須村の一部が合併し藤代町も誕生しました。

その後、**昭和40年代**の高度経済成長期には、首都圏から40km圏内に位置する2つの町は、交通網の整備により首都圏の近郊として発展し、この間、取手町は、当時の日本住宅公団による井野団地の完成や新取手地区の民間宅地開発などにより人口が急増し、昭和45年10月には県内17番目の市として市制施行をしました。

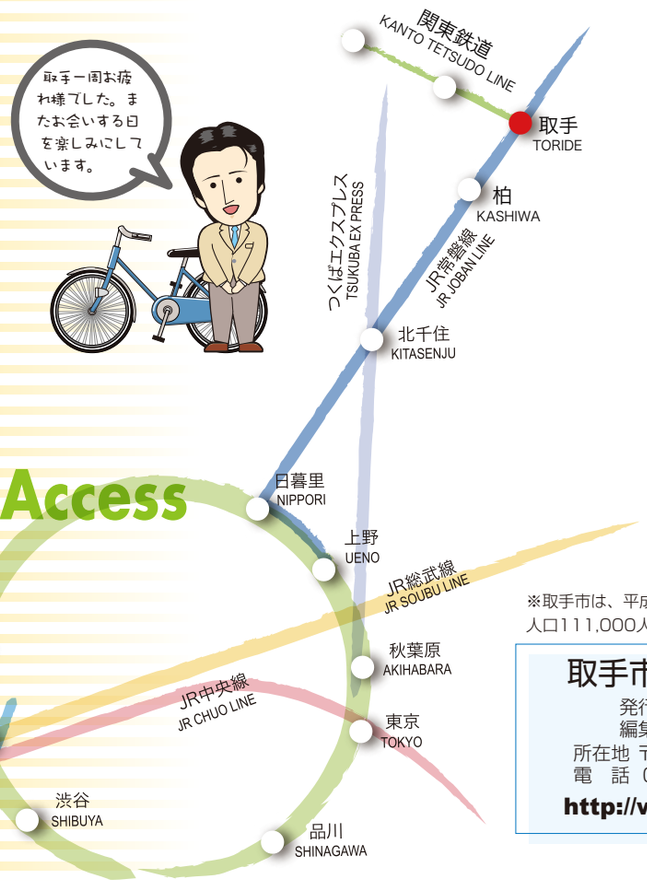
その後も戸頭団地や光風台など大規模住宅開発により人口が増加し、首都圏のベッドタウンとして発展してきました。

昭和57年11月には**地下鉄千代田線**による常磐線取手駅までの相互乗り入れが開始され、同年12月には関東鉄道常総線が複線化するなど、茨城県の南の玄関口として交通の利便性がさらに向上しました。

昭和60年代から平成にかけては取手駅・藤代駅周辺地区の開発や東京藝術大学取手校地が開設、平成11年に先端芸術表現科が新設されたことを契機に、市民・大学・行政が一体となって「アートを通じて人々が出会い語り合えるまちづくり」を進め、文化創造・発信の地となるような様々な事業を展開しています。

また、**利根川や小貝川**の恵まれた河川空間を活かし、首都圏の近郊都市として都市基盤の整備を図るとともに、自然と共生しながら、芸術と触れ合えるまちづくりを進めています。

※取手市は、平成17年3月28日に旧取手市と旧藤代町が合併し、総人口111,000人余を有する茨城県南部の中核的な都市となりました。



P20

取手市観光アートガイドブック
発行　取手市 / 発行日 平成20年4月
編集　産業振興課・文化芸術課
所在地 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電　話　0297(74)2141（代表）
http://www.city.toride.ibaraki.jp/

取手市観光ガイドブック
CONTENTS

▶P4-P5 イベント・KIOSK・アート 概要
▶P6-P18 各エリア紹介
▶P18-P19 名物・名品等の紹介
▶P19 散策コース紹介
▶P20 取手市アクセス・概要
▶別添付録 取手市観光ガイドマップ

To RIDE MAP
市の木 もくせい
市の鳥 ふくろう
市の木 月桂樹

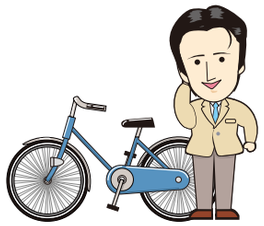
To RIDE

CONCEPT TO RIDE

本誌のコンセプトは、古来より交通・文化の要衝として歴史ある「取手市」を、そしてアートを通し現代文化を発信し続けるアクティブな「取手市」を『To Ride（トゥ・ライド）』『～に乗る』をキーワードにご紹介しています。
情報の波に乗って、身近な取手市の新しい発見の旅にお出かけください。

BICYCLE TO RIDE

岡堰出身の『おかっぴー』です。
これから私がエコの面からも、健康の面からも自転車で取手市をご案内させていただきます。興味を持たれたらさっそくお出かけいただければ幸いです。



EVENT TO RIDE

1月 新春消防出初め式
新春健康マラソン
とりで利根川たこあげ大会
とりで利根川どんどまつり
成人式

2月 節分
つるし雛

3月 ひなまつり
桜ライトアップ

4月 長禅寺三世堂特別参拝（18日）
さくら荘さくらまつり
こども天国

5月 鯉のぼり
小貝川フラワーカナル春の花まつり
親子米作り体験講座

6月 取手美術作家展

とりで利根川たこあげ大会

どんどまつり

さくら荘さくらまつり

小貝川フラワーカナル春の花まつり

KIOSK TO RIDE

KIOSK端末は、タッチパネルを採用し、指先で画面に触るだけで操作できる情報端末で、市ホームページや市民活動支援のホームページ「いきいきネットとりで」、スポーツ施設の空き状況照会や予約などがご利用いただけます。

KIOSK のマークの施設でご利用いただけます。

とりで利根川大花火

八坂神社例大祭

7月 各地域の夏祭り

8月 八坂神社例大祭
とりで利根川大花火
灯ろう流し

取手アートプロジェクト

9月 取手シルバーウォーク
運動会・体育祭

10月 とりで利根川河川まつり
取手けいりんフェスティバル
健康福祉まつり

11月 文化祭
とりで産業まつり
ネットワークフェア
取手アートプロジェクト
市美術展

12月 クリスマス
取手駅前イルミネーション
大晦日

取手アートタウン

取手市では、まちの将来像を「水と緑を育み、美と文化を創る生き生きリビングタウン」と掲げており、まちづくりの基本理念を「人と自然が共生し、芸術の香りが漂い、賑わいと活力に満ちたまち“とりで”」としています。これを実現するための重点テーマのひとつとして、街のいたるところで芸術に触れられ、芸術がより身近に感じられる「取手アートタウン」の実現があります。

取手市長賞

取手市と東京藝術大学では、平成3年の東京藝術大学取手校地の開設に伴い、文化交流を進めています。取手市長賞は、平成4年度から毎年、東京藝術大学の卒業・修了作品の中から選ばれた2作品に授与しており、作品は寄贈していただいたうえで市内の公共施設に分散して展示し、身近に鑑賞していただいています。

福祉会館ロビー

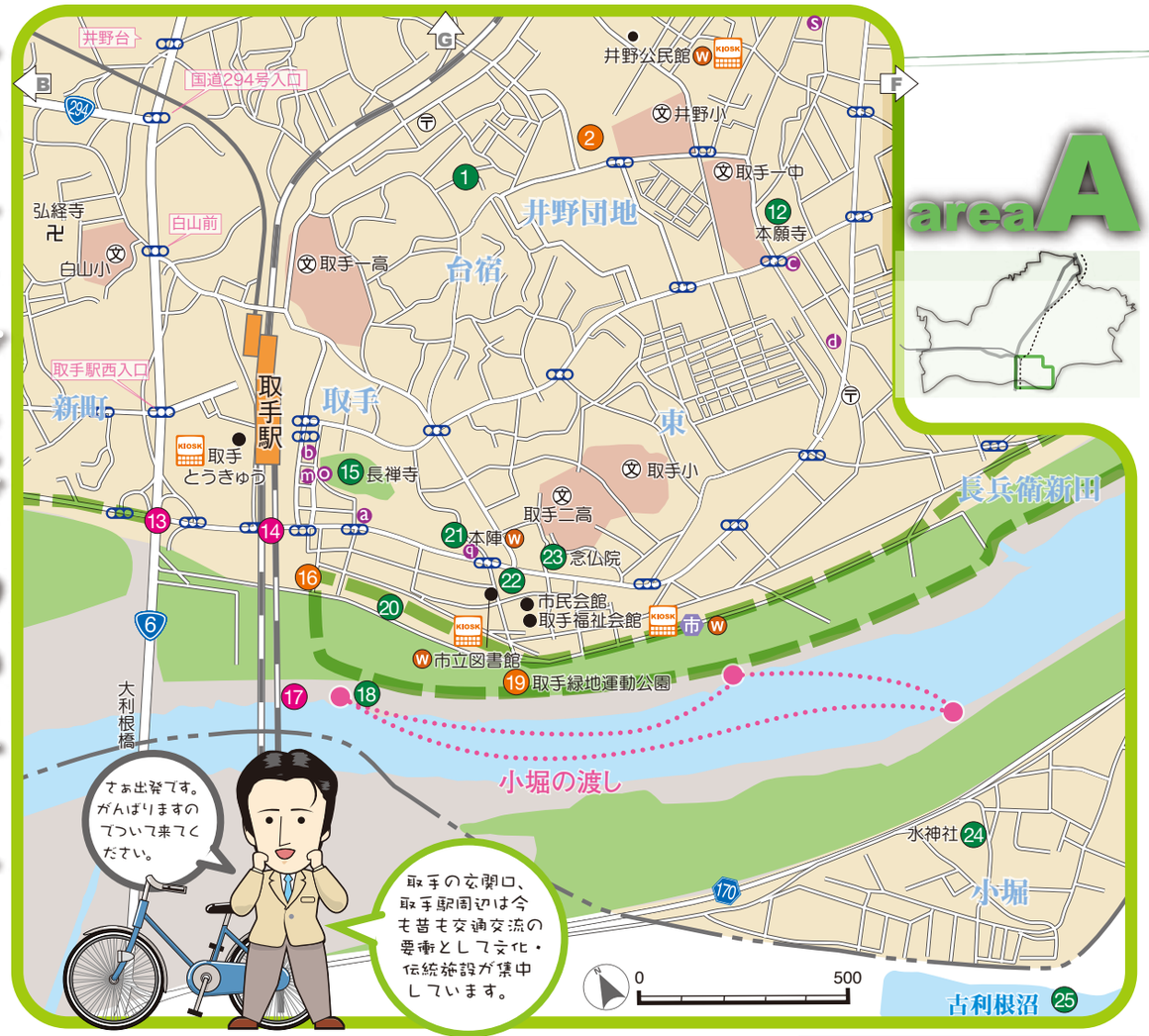
絵画の作品はマップ中の 市 マークの付いた施設で展示しています。

T・A・P
取手・アート・プロジェクト

取手市・市民・東京藝術大学によって展開している取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年4月、東京藝術大学取手校地に先端芸術表現学科が開設されるのを契機に始動しました。野外アート公募展と、地元在住作家等の芸術家によるオープンスタジオを1年おきに開催し、芸術によるまちづくりを進めています。近年では国土交通大臣賞、サントリー地域文化賞を受賞し、TAPの活動は全国的にも認められ始めています。

次ページ以降の番号の色分けは次のとおりです。
● 名所・旧跡　● 芸術　● 公共施設　● 企業・工場　● 名物・名品等

アクティブにぎわいエリア



16 サイクルステーション（河川敷）

JR常磐線下流側堤防上（河川敷）にサイクルステーションを設置し、無料で自転車を貸し出しています。■貸出し日時:3月21日から11月30日まで（土、日曜日、祝日のみ午前9時～午後2時まで）※サイクリングロードの一部および緑地公園内での利用となります。

19 取手緑地運動公園

取手市を代表する公園です。野球場7面、テニスコート10面、サッカー場2面、サイクリングコース、緑地広場などがあります。

25 古利根沼

明治末から大正にかけての河川改修で残された利根川の跡が、沼となって残っています。

イントラネット KIOSK

取手福祉会館	住所：取手市東 1-1-5 Tel 0297-73-3251
取手図書館	住所：取手市取手 1-12-16 Tel 0297-74-8361
取手駅前窓口	住所：取手市新町 1 丁目 9-1（取手とうきゅう 7F）Tel 0297-77-8100
井野公民館	住所：取手市井野 2-17-17 Tel 0297-73-1032

2 井野アーティストヴィレッジ

使われなくなったUR都市機構のショッピングセンターを利用し、取手市と藝大が共同で運営するアーティスト向けのアトリエ村です。7戸のアトリエでは、1戸数名のアーティスト達が毎日制作活動を進めながら地域の市民と交流を深め、市民とアートが身近にふれあう機会を創出しています。

15 長禅寺

駅前にありながら深山幽谷の趣を有し、新四国相馬霊場の札所やとりで七福神のひとつにもなっています。

三世堂（県指定文化財）

長禅寺の山門を抜けるとお堂があります。往路・復路が交わることなく一方通行で巡拝できる「さざえ堂」様式という珍しい建築様式です。★年に一度（4月18日）だけ、特別参拝ができます。

とりで七福神

長禅寺（大黒天）

とりで七福神のひとつで、裕福の権化・勤労の神様、また商売繁盛の守護神として信仰を集めています。身分に関係なく人々に福を授ける神様です。

22 八坂神社（市指定文化財）

名工後藤縫之助の手による本殿の彫刻は、一見の価値があるすばらしいものです。

20 鮭地蔵

鮭の霊を慰めるために建立されたお地蔵様です。かつて利根川を遡る鮭を穫る漁業が盛んであったことを伝える貴重な石仏です。

21 旧取手宿本陣（県指定文化財）

トイレ有り

寛政7年の建築で、水戸街道に残る本陣建築では最古・最大のものです。歴代の水戸藩主との深いつながりを示す品々や、多くの古文書が伝えられています。

公開日：毎週金・土・日のみ　午前10時～午後4時
年末年始を除く　入場は午後3時30分まで

18 小堀の渡し

利根川の大改修により対岸となった小堀地区には、平日は市民の重要な足として、休日はハイキングや釣りの足として、今も渡し舟が通います。

とりで七福神

23 念仏院（福禄寿）

南極星の化身で福（幸福）と禄（生活と経済の安定）と寿（健康にして長命）の三徳をそなえた長寿安泰の守護神です。取手が生んだ幕末の国学者・沢近嶺の墓と歌碑もあります。

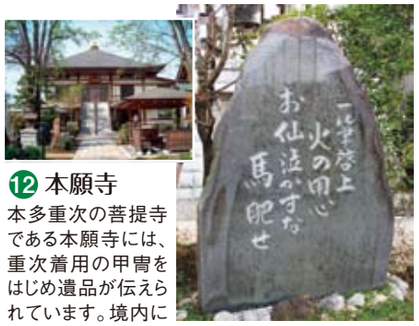
24 小堀水神社の力石

かつて青年たちが力自慢に持ち上げた卵形の自然石です。重さが彫られている石もあります。

本多重次（1529—1596）
徳川家康に仕え、三河三奉行の一人として活躍。「鬼作左」と称され、主君家康に対しても歯に衣着せぬ物言いをしたといわれてます。家康上洛の際、秀吉の生母を警戒し、居所の周囲に薪を積んだことで秀吉の怒りを買い上総国（現在の取手市）に蟄居させられました。

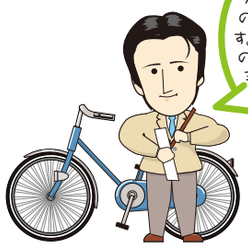
1 本多作左衛門重次墳墓（県指定史跡）

徳川家康に仕え、「一筆啓上　火の用心　お仙泣かすな　馬肥せ」の簡潔な手紙の作者として知られる本多重次は、領地を取手に得て最晩年をここで過ごし死去しました。



12 本願寺

本多重次の菩提寺である本願寺には、重次着用の甲冑をはじめ遺品が伝えられています。境内には「一筆啓上」の手紙の碑も建立されています。



クリエイティブにぎやかエリア

area A

11 ストリートアートステージ
（彫刻・工芸）（東口駅前）

取手市と東京藝大が協力して、取手駅東口の歩道沿いに設置された屋外アート。藝大の彫刻科(金属研究室)と工芸科（鍛金研究室）で制作された16作品を展示しています。

9 取手駅市民ギャラリー

無料で利用できる市民ギャラリー。取手駅と藤代駅に設置されています。

5 とりでアートギャラリー（きらり）

芸術文化作品の発表及び鑑賞の場を市民に提供しているギャラリーです。

10 シュプリルゲン（工芸）
作者:宮田 亮平
（取手駅東口前）

壁画のあるまちづくり

取手市では、落書きや張り紙防止を目的に平成12年から「壁画によるまちづくり」を行っています。平成17年度からは、東京藝大、市民、行政による実行委員会が設立され、毎年1作品を制作しています。

13 壁画（とねがわ河川敷05） 平成17年8月
制作者:壁画のまちづくり実行委員会 原画:浅野 純人

14 壁画(COLORS OF LANDSCAPE) 平成15年8月
制作者:取手アートプロジェクト　原画:住 康平

17 壁画（利根川鉄橋下船着場） 平成12年6月
制作者:白山小学校6年生

その他のアート

3 独立柱（彫刻）
作者:林　武史
　　虎尾　裕
　　丸山 富之

8 梟家族（彫刻）
作者:手塚 登久夫

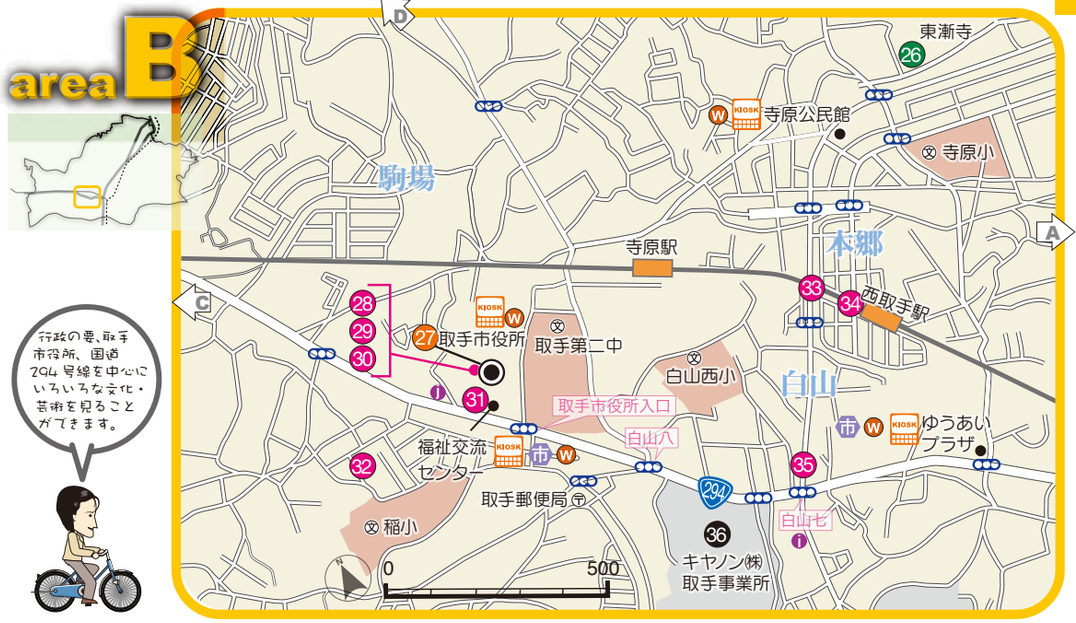
4 釣をする（彫刻）
作者:福岡 道雄

6 和（なごみ）（彫刻）
作者:平塚 正義

7 六斎船（彫刻）
作者:江口　週（取手駅西口前）

彩り鮮やかカラフルエリア

area B



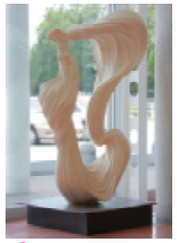
27 取手市役所

28 空虚たる侵入者（彫刻）
第6回市長賞
作者:内山 士郎（取手市役所中庭）

34 壁画（ライフ） 平成18年8月
制作者:壁画のまちづくり実行委員会 原画:池田裕子

26 東漸寺（市指定文化財）
観音堂と山門は、江戸時代前期の建築です。また山門は、市内に残る唯一の仁王門です。
※平成22年3月末まで保存修理中

32 おつきさま（彫刻）
作者:澄川 喜一
（こぶし公園）



31 風（陶芸）
第15回市長賞
作者:藤笠 砂都子
（福祉交流センター）

33 壁画（Fantastic world） 平成15年2月
制作者:白山西小学校6年生

33 壁画（Sunshine21） 平成15年2月
制作者:白山西小学校6年生

その他のアート

29 おかあさん（彫刻）
作者:北村 西望（取手市役所内）

30 遥かなる憧憬（彫刻）
作者:島田 忠幸（取手市役所前）

36 キヤノン㈱取手事業所
キヤノングループ最大の事務器生産拠点として、高度な生産技術と、最新の設備を持つ取手事業所では、複写機、レーザービームプリンター並びに、それらの現像材などを主力製品として生産しています。

35 壁画（サイクル） 平成16年3月
制作者:ボランティア、取手二中生徒
原画:伊藤恵理

イントラネット KIOSK

取手市役所
住所：取手市寺田 5139　Tel 0297-74-2141（代）

福祉交流センター
住所：取手市大字寺田 5144-3　Tel 0297-72-0603

ゆうあいプラザ
住所：取手市白山 5 丁目 1-1　Tel 0297-73-5671

寺原公民館
住所：取手市本郷 1 丁目 32-1 Tel 0297-73-1851

広がる青空ひかりのエリア

42 桔梗塚 ここで追っ手に切られた平将門の愛妾桔梗の前の悲話が伝えられています。

50 藤から地蔵
お地蔵さんの脇に松の大木があり、その松に藤の枝がからまっていたので「藤から地蔵」と呼ばれるようになりました。藤から地蔵がある場所は、「佐倉道（さくらみち）」という、水戸街道より古くからある道に面しています。

43 龍禅寺三仏堂（国指定重要文化財）
16世紀のはじめに建てられた貴重な中世建築で、市内で唯一の重要文化財です。両側面と背面に裳腰をめぐらした建物としては、日本に現存する唯一のものです。

52 とげぬき地蔵
昔、とげぬき名人のお婆さんがいましたが亡くなる前に、「これからは地蔵尊がとげをぬいてくれる」と遺言しました。それに従って地蔵尊を建てたところ、とげばかりでなく苦労や不幸も抜いてくれるということから参詣者が絶えることなく訪れるようになりました。

39 海軍飛行船 SS3号 殉難慰霊碑
大正13年、戸頭上空で爆発・墜落した飛行船の搭乗員の慰霊碑です。

48 取手グリーンスポーツセンター
総合体育館をメイン施設に、室内プール（公認50m）、遊水プール（夏季のみ）、林間アスレチックを備えた市民スポーツの拠点です。その他に武道場、弓道場、トレーニングルーム、スポーツサウナ、健康相談室などがあります。

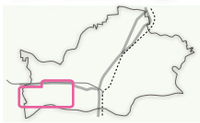
49 白山神社（本殿:市指定文化財）
指定文化財の本殿の壁には、中国の二十四孝図を題材にした見事な彫刻があります。

37 とがしら公園
取手市の西端の丘陵にあるとがしら公園は住宅地の一角に広がる緑いっぱいの都市公園です。市民の憩いの場として、ふれあいの場として楽しんでいる姿をよく見かけます。

イントラネット KIOSK

保健センター　住所：取手市野々井1926−2　Tel 0297-78-2171
福祉センターあけぼの　住所：取手市寺田4723　Tel 0297-73-3010
取手グリーンスポーツセンター　住所：取手市大字野々井1299番地 Tel 0297-78-9090

area C



41 リング(工芸)
作者:芸大生
（宮ノ前ふれあい公園）

取手駅東口の歩道沿いで展開するストリートアートステージの作品が、後に組み合わされ、リング状の作品として生まれ変わりました。

45 Columnar Joint—交差—(彫刻)
第2回市長賞
作者:野尻 聡（グリーンスポーツセンター前）

40 DAWN(彫刻)
第11回市長賞
作者:コルネオ・ホセ・セサル
（宮ノ前ふれあい公園）

46 天使(彫刻)
第1回市長賞
作者:古谷 一彦
（グリーンスポーツセンター前）

51 the beauty(彫刻)
第10回市長賞
作者:竹内 智美（新取手駅前）

44 黙止(彫刻)
第5回市長賞
作者:福田 豊（緑寿荘前）

38 壁画（家・色いろトンネル）
制作者:戸頭東小学校5年生
（戸頭陸橋橋脚）
平成13年2月

その他のアート

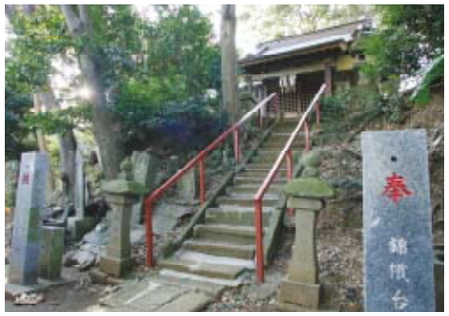
47 風穴(漆工芸)
作者:倉持 昌代（グリーンスポーツセンター内）

想い遥か懐古のエリア

61 岡堰
江戸時代の初めに伊奈半十郎忠治により築かれ、相馬二万石の用水となりました。今でも桜の名所としてにぎわっています。

57 さくら荘
岡堰近くの「さくら荘」にて、毎年、桜のライトアップをしています。ソメイヨシノ約80本の桜並木です。

55 高源寺（地蔵ケヤキ:県指定天然記念物）
樹齢1600年と推定される大樹で、根本の洞穴には子育て地蔵がまつられ、地蔵ケヤキと呼ばれ安産の霊験あらたかと信仰を集めています。



59 大日山古墳（県指定史跡）
将門の愛妾桔梗の前の墓との伝説があります。周辺は将門の屋敷跡とも伝えられ、昭和14年に地元の人びとの運動により、県の史跡に指定されました。

60 仏島山古墳
平将門の墓との伝説があり、多くの埴輪などが出土しています。

56 高井城址公園
戦国時代の城跡としては、市内では最も形がよく残っています。現在は、歴史公園として、保存しながら市民の憩いの場となっています。

62 金仙寺
（木造阿弥陀如来坐像:市指定文化財）
本尊阿弥陀如来坐像は、鎌倉時代の作で市内でも類のない貴重なものです。

58 延命寺
将門が信仰していた地蔵尊のおつげによって創建された、と伝えられています。

53 将門土偶の墓（市之代古墳群）
市内最大の古墳群のなか、かつて武人の姿をした像が出土した場所に石碑が建っています。

54 神明遺跡
縄文時代の遺跡が、神明神社周辺の畑の下に眠っています。

area D

63 小曲—Harmony—（彫刻）
第4回市長賞
作者:藤田 隆康（戸頭駅前）

64 地脈（彫刻）
第7回市長賞
作者:今村 敏雄（戸頭駅前）

65 王とHHひ（彫刻）
第8回市長賞
作者:森岡 慎也（戸頭駅前）

水辺と花の癒しのエリア

68 小貝川フラワーカナル

取手市内の小貝川河川敷に春はポピー、秋はコスモスの年2回、咲き乱れる花の運河です。

69 ポニー牧場

10頭の馬がいます。ポニー教室（会員制）や乗馬（予約制）を行っています。

84 藤代駅市民ギャラリー

無料で利用できる市民ギャラリーです。取手駅と藤代駅に設置されています。

76 取手市役所藤代庁舎

67 藤代スポーツセンター

施設は体育館、野球場、多目的グランド、テニスコート等を備え、各種スポーツ大会や講習会も開催されています。また、敷地の中心にあるピクニック広場は全面芝で覆われた小高い丘で、家族で散歩等を楽しめる場所です。

74 藤代本陣跡

水戸街道藤代宿の本陣跡です。歴代の水戸藩主や徳川慶喜も利用しました。現在の藤代公民館がある場所です。

イントラネット

藤代庁舎	住所：取手市藤代 700 Tel 0297-74-2141（代）	藤代図書館	住所：取手市藤代 415 Tel 0297-70-8181
藤代保健センター	住所：取手市藤代 730－1 Tel 0297-70-3511	藤代スポーツセンター	住所：取手市椚木 15 番地 Tel 0297-82-7200
藤代公民館	住所：取手市藤代 491 Tel 0297-83-2015		

72 高蔵寺（薬師如来坐像）

16世紀後半の作とみられる寄木造りの薬師如来坐像があり、台座76センチ、光背の直径110センチと大型の仏像です。薬壺を持ち、あらゆる病気を治療する仏で、とくに眼病などに効験があると信仰を集めています。

73 相馬神社

相馬氏とのゆかりが深い神社です。本殿の彫刻は精緻を極めています。

85 毛有薬師堂と伊奈忠治顕彰碑

江戸時代の初め、相馬二万石を開発した伊奈忠治が眼病となった時、村民が病気平癒を祈願して建てたとの伝説が残っています。境内には昭和33年建立の顕彰碑があります。

86 日清食品㈱関東工場

日清食品は世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」や世界初のカップ麺「カップヌードル」をはじめとする新しい食の創造・開発を通じて世界の食文化に貢献しています。

66 高砂五郎次の碑

取手出身で、江戸時代の高砂部屋四代目年寄となった高砂五郎次の記念碑です。

アートスポット

70 壁画（永遠に） 平成19年8月

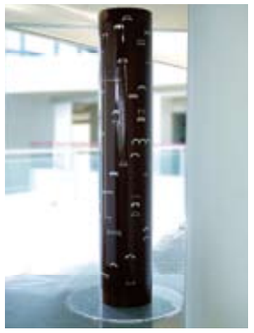
原画:青木 愛弓　制作:壁画のまちづくり実行委員会
（国道6号藤代バイパス藤代大橋下）

71 望郷（彫刻）

作者:倉持 芳
（藤代図書館内）

77 から（漆芸）

第12回市長賞
作者:保坂 翠（藤代庁舎内）



78 はしらに橋ら（漆芸）

第14回市長賞
作者:菊川こよみ（藤代庁舎内）

79 美しい力（彫金）

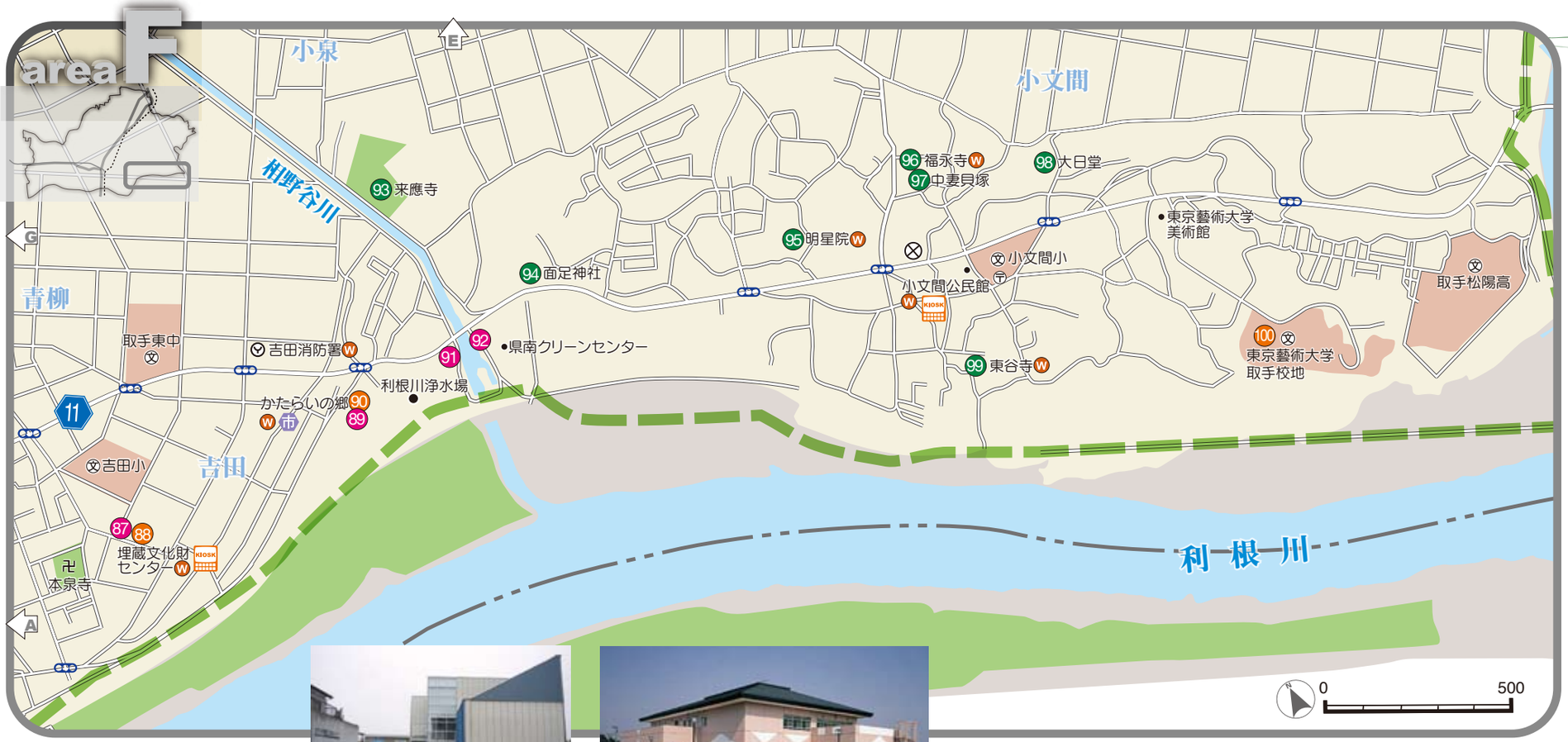
第13回市長賞
作者:鶴岡 浩美（藤代庁舎内）

その他のアート

- 75 裸婦坐像（彫刻）　作者:倉持 芳（藤代公民館内）
- 80 うつ臥せる女（彫刻）　作者:倉持 芳（藤代庁舎内）
- 81 トルソー（彫刻）　作者:倉持 芳（藤代庁舎内）
- 82 核と平和（大理石モザイク）　作者:工藤 晴也（藤代庁舎内）
- 83 Orga（オルガ）～はじまり（彫刻）　作者:井坂 吉雄（藤代庁舎内）

萌えるみどりと古代のエリア

area F



100 東京藝術大学取手校地

平成3年10月に開設され、美術学部1年生と美術学部先端芸術表現科、大学院美術研究科先端芸術表現専攻の学生が学んでいます。毎年12月には、学生の作品を展示する「取手Art Path」を開催しています。

93 月光院ゆかりの来應寺

江戸幕府6代将軍徳川家宣の側室で、7代将軍家継の生母月光院ゆかりと伝えられています。

94 面足神社

面足神社は通称大六天と称し、祭神は面足尊（おもたるのみこと）です。永禄元年（1558年）一月の創建。平成8年の火災により消失。その後6年の歳月を経て平成14年12月氏子を中心とした関係者の努力により新築社殿が完成しました。

88 埋蔵文化財センター

「埋蔵文化財」の「埋蔵」には「埋められた」と「長い年月の間に土に埋まった」という2つの意味があります。「文化」は人間の知恵や知識、「財」は金や宝という意味で「文化財」は人間の知識が集まった宝物という意味です。

97 中妻貝塚（市指定史跡）

明治時代から学会にその名が知られている縄文時代の重要な遺跡です。
※写真は発掘調査の時のものです。

90 かたらいの郷

あらゆる世代のみなさんが交流し、憩いと安らぎが得られる施設です。超音波風呂や大広間、ボランティアルーム、娯楽室などがあります。

1階部分（研修室、清風の間、クッキングサロン）/2階部分（かたらいの間、浴場、リラクゼーションルーム、娯楽室）また、取手市長賞の作品が展示されています。
お問い合わせ先：TEL0297−73−8333

98 大日堂の百庚申

百基以上の庚申塔が立ち並ぶ壮観な光景です。厚い信仰心が今に伝わっています。

イントラネット KIOSK

埋蔵文化財センター
住所：取手市吉田 383　Tel 0297-73-2010

小文間公民館
住所：取手市小文間 4240　Tel 0297-74-7035

とりで七福神

95 明星院（恵比寿）

トイレ有り

商売繁盛の神様です。昔から「えびす顔」というように人々に親しまれてきた恵比寿は、七福神の中で唯一の日本の神様です。明星院は「娘十九の厄除け大師」としても有名なお寺です。

とりで七福神

96 福永寺（毘沙門天） トイレ有り

毘沙門天は苦境を乗り切る勇気と悪霊を退治する力を与えてくれる神様です。元気がほしいときはぜひ行ってみましょう。なお、本堂の左甚五郎の一夜彫りといわれる桐の大毘沙門天はぜひ必見です。

とりで七福神

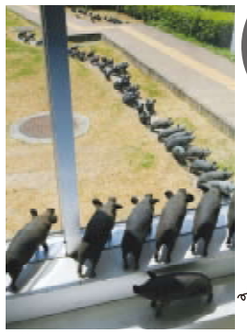
99 東谷寺（弁財天）

トイレ有り　休憩所有り

愛と福、そして学業成就の女神です。大きな空の下でその優雅な姿を望むと、心がふっと軽くなるよう。詩人の誠民（しんみん）の「念ずれば花ひらく」の句碑を見れば、きっと願いを達成する力を与えてくれることでしょう。

89 黒雲（彫刻）

第3回市長賞
作者:大城　智
（かたらいの郷前）



87 はな（鋳金）

第9回市長賞
作者:本山ひろ子
（埋蔵文化財センター前）

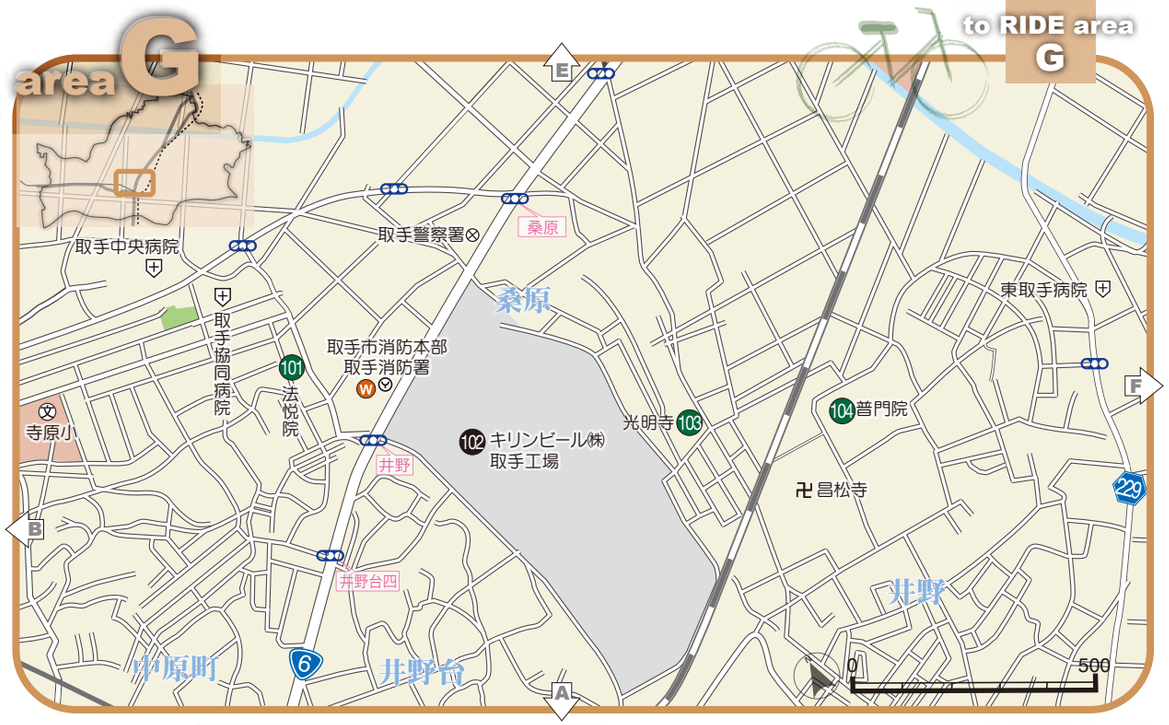
その他のアート

91 水門のうた（彫刻）
作者:米林 雄一
（相野谷親水公園）

92 水辺にて'94（彫刻）
作者:山本 正道
（相野谷親水公園）

風そよぐ黄金のエリア

area G



101 法悦院

1982年11月9日に建立されました。開基は大石寺第67世法主日顕上人です。

とりで七福神

103 光明寺（寿老人）

「おまえ百までわしゃ九十九まで」と満面の笑顔で健康と長寿を授けてくれる神様です。「一本刀土俵入り」で有名な長谷川伸の歌碑もあります。

とりで七福神

104 普門院（布袋尊）

ニコニコ顔の布袋尊は内に強い意思を秘め、信仰心の厚い人には金銀財宝を限りなく与えてくれるという、とても豪快な神様。実在した禅僧です。平和の神様でもあります。境内には小川芋銭の書を刻んだ「除闇遍明」の碑があります。

102 キリンビール㈱取手工場

日本を代表するビールメーカーとして有名なキリンビール取手工場は誰でも見学できる工場として取手市観光のスポットになっています。事前に予約すれば、ガイドの案内付きで工場見学ができ、見学後はできたてビールの試飲もお楽しみいただけます。

MODEL COURSE 1

JR取手駅（東口）
↓ 10分（400m）
長禅寺
↓ 10分（370m）
本陣
↓ 20分（850m）
小堀の渡し
↓ 30分（2km）
本多作左衛門重次墓
↓ 25分（1.5km）
本願寺
↓ 20分（1.5km）
JR取手駅（東口）

行程時間 約2時間
（駐車場：河川敷駐車場）

MODEL COURSE 2

常総線 稲戸井駅
↓ 10分（340m）
桔梗塚
↓ 10分（450m）
龍禅寺（三仏堂）
↓ 30分（1.5km）
高源寺（地蔵ケヤキ）
↓ 15分（600m）
高井城址跡
↓ 20分（900m）
さくら荘・岡堰

行程時間 約1時間25分

おかっぴーのおすすめ散策コース

取手の名物・名品・名店紹介

漬け物

a ㈱新六本店
取手市取手2−13−36
Tel. 0297（72）0006
Fax. 0297（74）0999
http://www.shinroku.co.jp/
areaA（P-6）

b 漬物夢工房 山中屋
取手市取手2−3−3
Tel. 0297（74）1600
Fax. 0297（74）1601
http://www.yamanakaya.co.jp/tenpo_info.html
areaA（P-6）

c ㈲戸祭貞次郎商店
取手市東6−70−15
Tel. 0297（72）3345
Fax. 0297（72）3433
http://www.tomatsuri.co.jp/
areaA（P-6）

和菓子

d 御菓子司 青柳
取手市東6−68−8
Tel. 0297（73）1418
Fax. 0297（73）5300
areaA（P-6）

e まるやま千栄堂
取手市戸頭4−16−12
Tel. 0297（78）0404
Fax. 0297（78）5647
areaD（P-13）

f 藤代㊗伊勢屋
取手市宮和田1172−6
Tel. 0297（83）7766
Fax. 0297（82）3388
areaC（P-10）

g 泉家菓子舗
取手市片町325−12
Tel. 0297（82）2069
Fax. 0297（82）2069
areaE（P-14）

h 御菓子司 羊羹屋本舗
取手市山王282
Tel. 0297（85）8320
Fax. 0297（85）8320
areaE（P-14）

洋菓子

i ニューアンヂェラス
取手市白山7−3−26
Tel. 0297（74）1270
Fax. 0297（72）4411
areaB（P-9）

j ル・ソレイユ
取手市寺田5186−1
Tel. 0297（71）2882
Fax. 0297（71）2883
http://www.le-soleil.com/
areaB（P-9）

甘納豆

k 小川製菓
取手市戸頭9−1−22
Tel. 0297（78）4339
Fax. 0297（78）2024
areaC（P-10）

せんべい・だんご

l 椎名米菓
取手市山王87−1
Tel. 0297（85）8460
Fax. 0297（85）8506
areaD（P-13）

大師せんべい

m 今井屋商店
取手市取手2−4−16
Tel. 0297（72）0679
areaA（P-6）

あられ

n 歌舞伎あられ 池田屋
取手市山王266
Tel. 0297（85）8231
Fax. 0297（85）8375
areaD（P-13）

駄菓子

o 駄菓子屋よいこ
取手市 取手 2−9−10
Tel. 0297（73）7560
http://415.torideburg.com/
areaA（P-6）

パン

p パン工房 クーロンヌ
取手市戸頭2−12−13
Tel. 0297（78）6321
Fax. 0297（78）7360
http://www.couronne.co.jp/
areaC（P-11）

酒

q ㈱藤沢商店
取手市取手2−16−34
Tel. 0297（73）0133
Fax. 0297（73）0134
http://www.sakeshop.jp/
areaA（P-6）

r 上野屋酒店
取手市宮和田1173−15
Tel. 0297（83）3319
Fax. 0297（83）3319
http://www.nexyzbb.ne.jp/
areaE（P-14）

s 金門酒造㈱
取手市青柳65
Tel. 0297（72）0103
Fax. 0297（74）4828
areaA（P-6）